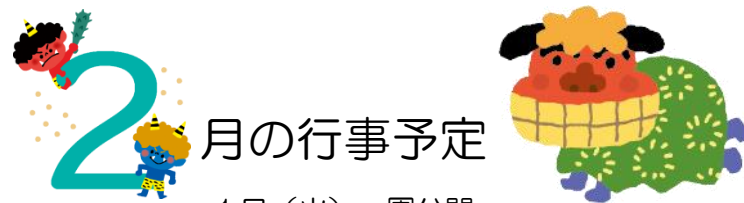




1月の行事予定

14日(金) 誕生会／とんど／もちつき
26日(水) 避難訓練



2月の行事予定

1日(火) 園公開
3日(木) 誕生会
15日(火) 避難訓練
25日(金) 新入园児説明会

BOXティッシュのご協力をお願いします

BOXティッシュをこども一人につき一箱(袋)ご協力ください。朝の検診場所に、回収用のカゴを用意しておきますので、入れてください。



12月25日(土)に発表会を行いました。たくさんのお客さんに見守られる中、友だちや保育者と一緒に役になりきったり、歌ったりして楽しむ姿を見ていただきました。温かい拍手をありがとうございました。

※感染症の状況により中止になることもあります。



丘の上知恵袋

- ・「元気になるよ！食べてごらん」と言う
- ・ドライカレー、チャーハン、みそ汁、卵焼き、お好み焼き、肉巻き、ハンバーグ、スープ、シチューに混ぜる
- ・料理に混ぜて食べたら「実は野菜が入ってたんだよ」ということを伝えて褒める
- ・野菜の気持ちを一緒に考えていると食べるようになった
- ・食べ物を育ててくれる人話やありがとうの気持ちで食べるように伝えている
- ・お米を炊くときに人参をすりおろして炊くと食べてくれる
- ・好きなドレッシングをかける
- ・場所や一緒に食べる人を変えてみる(お弁当箱、ピクニック、おじいちゃんおばあちゃんの家など)
- ・まずは自分が美味しく食べている所を見せる。それでだめならまずは一口食べられたら大げさに褒める
- ・調理に関わると食べてくれる
- ・食べない子は何をしても食べないので調理方法を変えるより、一緒に収穫&料理をすると食べてくれるかも



Q. 野菜を全然食べようとしません。何か良い調理方法などあれば教えてください。

たくさんのご意見ありがとうございました♪

今月の“教えて♪”

Q. 兄弟げんかをある程度見守っていますが、どこから親が介入していますか？
また帳面に用紙を貼りますのでご意見を記入して下さい。ご協力よろしくお願いします。

園だより NO. 437号

くまのこだより

令和4(2022)年1月11日(火)発行
さくらが丘保育園



社会福祉法人 岡山こども協会

『ステップ』

新年あけましておめでとうございます。『一年の計は元旦にあり(意味:計画は早めにしっかりと立てるべきだという戒め)』昨年の私の抱負は、『一番話しかけやすい職員になること』でした。さくらが丘保育園に移動してくることを見越して立てたものではありませんでしたが、結果いい目標となりました。しかし、新年に立てた計画は立て直しが必要で、新天地での人間関係・信頼関係づくりは甘いものではありません。さて、どうしたものか…頭を悩ませました。

まずは、笑顔です。私の一番の武器と言っても過言ではありません。どんな時でも(家の中では怒り顔の方が多いような気がしますが)笑顔でいようと自分の信念のように掲げています。そして、相手を知ること・話をじっくり聞くこと・自分の心を開くこと。様々な段階を踏んでいくうちに、少しずつではありますが、話しかけていただく回数が増えてきたように思います。

“話しかけやすさ”とは、何を持ってのことなのだろうと改めて考えました。あの人に言ったら、なんだかすっきりしたわ。何でも知っているだろうから、あの人に聞けば教えてもらえるかも。一緒に考えたら、何か糸口が見つかるかもしれない。どんな話でも受け止めてほしい。いろいろな気持ちを受け止められる人、大きな心で包むことなのではないかと自分なりの答えを見つけました。さくらが丘保育園の皆さんにとって、そんな存在となれるよう、今年も精進していきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

雁 倫子



住所 赤磐市桜が丘東 6-6-704
電話 (086)995-0104
IP 電話 050-3494-4820
FAX (086)995-0164



はなぐみ つきぐみ

段ボールの中に入ると自分だけの居場所ができたように落ち着くこどもたち。バスに見立ててバスのうたを歌ったり、大人が押して動かしてみたりするといいい顔が見られました。

“自分だけの空間”“自分だけの時間”小さな頃から大きくなっても必要な物かもしれないですね。

おかわりをしようと席を立ったRさん。そのまま行ってしまうと思ったら、机に椅子を入れて立ち去りました。とても些細な出来事ですが、マナーがきちんと身についている姿が素敵だなと思いました。

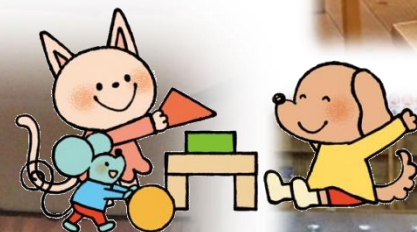
今、流行している意味合いとは少し違いますが俗に言う“ととのう”身の回りを整えると心も整います。小さな積み重ねを大切にしたいです。



ゆきぐみ

手を洗おうと、保育者が腕まくりをして水道に向かうと、それを見て同じように両手を腕まくりしていました。声を掛けなくても、同じように真似して、手洗いをしました。

こういう時はどうしてこうするのか。習慣ということもありますが、利点がわかってこそ行動に移せます。「袖が濡れるから腕まくりすると濡れなくていいよね」と言葉を添えると、理解と習得ができて一挙両得です。



ほしぐみ



好きなあそびをしていた時のこと。こども同士で「大きくなったら何になりたいか」という話をしているのが聞こえてきました。

Dさん「俺はお兄ちゃんがパトカーだから白バイ」

Eさん「ハンバーガーを作る人」

Fさん「サンタさんの郵便」

こどもたちの可能性は無限大。これからどんな人生を歩んで、どんな大人になるのか楽しみです。

大人になっても壮大な夢を持ち続けていきたいです。



にじぐみ

砂場で山を作ってトンネルを掘っている時に Aさんが違う所を掘り、壊してしまいました。みんなが残念そうに「あーあ」と言うと Bさんが「もういっかいつくったらいいじゃん」と言いました。みんなを励ます言葉にすてきだなと感じました。

失敗したらまたやり直せばいいんです。何度だってトライはできます。転んだら立ち上がって一歩を踏み出す気持ちを育てていきたいです。

こーいね



そらぐみ

発表会のうたの練習を毎日ホールで行いました。最初は自信がなく口を大きく開けることができなかったけどことを伝える。ど保育者からのアドバイスを受けて少しずつ自信をもって大きな声で歌うようになりました。本番では一番いいステージになりました。

不安な時ってどうしても委縮してしまいがちです。何度も経験を重ね、こうしたら良くなるよと伝えることでよりかっこいい姿を目指す。ステキな姿を認めることで、自信につながりました。素直に言葉を受け止める気持ちも育ててほしいです。

